

令和 7 年 10 月 16 日

令和 7 年第三回定例会を終えて（談話）

中央区議会自由民主党議員団 幹事長 海老原 崇智

令和 7 年第三回中央区議会定例会が 10 月 16 日に閉会しました。

今定例会では、補正予算・令和 6 年度各会計歳入歳出決算を含む全 17 議案が慎重に審議され、すべての議案が原案通り可決・認定されました。

はじめに、補正予算は、「民間学童クラブに対する助成の拡充」「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)の拡充」「築地場外市場地区における駐車場および荷下ろし場の移転整備」「泰明小学校におけるスクールバスの運行」のほか、「学校給食における米の現物給付費用の増額」など子育て需要や物価高騰対策を踏まえた予算の増額が示され、慎重な審議が行われました。その結果、一般会計および介護保険事業会計を合わせて 8 億 8107 万円が可決されました。

次に、9 月 29 日～10 月 9 日まで行われた決算特別委員会では、我が会派が提出した令和 6 年度重点政策要望から多くの施策に反映されたことを踏まえ、委員から様々な視点で質疑が行われました。

令和 6 年度の新たな施策である「ふくしの総合相談窓口の開設」「中央区保健所等複合施設における育ちの相談・サポート機能の体制整備」「知的障害者グループホーム《リヴェール月島》の整備」は、20 万人都市へと向かい、加速度的に変化する本区にとり重要な施策であることから、取り組み内容の確認と充実に向けての質疑や要望を行いました。

また、晴海フラッグへの入居開始後に発生した地域の諸課題については、未だに不安の声が寄せられており、今後も地域の意見を十分に汲み取り、住民の安心につながるよう、丁寧かつ迅速な対応を行っていただくよう強く要望するとともに、我々も晴海フラッグの住民のみなさまとともに課題解決に力を注いでまいります。

さらに、令和 6 年 4 月に「築地地区まちづくり事業者」が決定し、本年 8 月には「築地地区まちづくり事業 基本計画」が策定されました。本区は、安定した区民生活の確保と国際的な都市機能を備えたまちづくりの両立という新たな局面を迎えていることから、築地の歴史や地域が重ねてきた年月がまちの魅力を紡ぎ、歴史と未来が調和するまちづくりを力強く推進されることを期待する旨を述べて、令和 6 年度中央区各会計歳入歳出決算の認定に同意しました。

私たち中央区議会自民党議員団は、これからも皆様からお寄せいただく声に耳を傾け、ひとつひとつの施策を丁寧に進めながら、安心して心豊かに暮らせるよう努めてまいります。